

入学試験問題の講評 英語（後期日程）

●出題のねらいと傾向

作問方針

1. 文部省の高等学校学習指導要領で強調されている学習領域と内容を重視しました。
2. 英語を外国語として学習する EFL (English as a Foreign Language) の試験や TOEFL を参考にしています。

2021 年度も前年度と同様、英語の運用能力を測定するために、内容把握に主眼をおいた長文問題、必要な情報を読み取る問題、英語の慣用法と英語の文法・構文理解の問題、コミュニケーションを重視した会話の問題、パラグラフ構成の問題を中心に出题しました。

問題作成に関しては、長文の主旨や結論、作者の意図や主張を正確に把握する能力 (Skimming) と、目的に即して必要な情報を素早く読みとる能力 (Scanning) を重視しました。さらに、文脈 (Context) から作者の意図や未知の語句の内容を推測する力 (Inference)、英文の構造や英語表現の理解度 (Structure and Expression)、英語の運用能力 (Communicative Competence) 等に重点が置かれています。

①、②、⑥：長文読解

後期日程は例年通り 600 語から 800 語程度の文章に関する総合問題を出題しました。いずれも高等学校で習った基本的な Reading の達成度を計ることが目的です。文章全体の主旨 (Main Idea)、概要 (Outline)、主題 (Topic)、結論 (Conclusion) 等を理解する力、作者の意図や文脈 (Context) から類推して予測する力 (Inference) などを試す問題です。長文読解では英語で読み通す総合的な Reading Skill が求められます。

③：文法・用法

高等学校で習う英語の基本的な慣用法や文法事項の習熟度を試す問題です。

④：コミュニケーション

ある一定の状況の下で話される会話の流れをよく理解し、英語の会話を完成する問題です。英語のコミュニケーションを理解して、会話に参加できる力を試しています。

⑤：速読

日常生活において、英語の雑誌やパンフレットを読む際、必要な情報や特別な事実のみを的確に素早く読み取る力 (Scanning) を試す問題です。海外での実生活において、英語の情報を的確に読み取る力が要求されます。

⑦：パラグラフの完成 (文系のみ)

文章を並べ替えて自然な流れのパラグラフを作る力と、文の中の正しい語順の理解を試しています。

●平均点・得点について

後期日程理系受験者の平均点は 38.3 点 (100 点満点)、合格者の平均点は 42.5 点 (100 点満点) でした。文系学部受験者の平均点は 92.4 点 (200 点満点)、合格者の平均点は 124.8 点 (200 点満点) でした。今年度は文系も理系も受験者平均点、合格者平均点とも例年に比べるとかなり低かったのが特徴です。とくに⑥の長文問題の得点率が低かった要因として問題の文章が長く解答するのに十分な時間をかけることができなかつたことも考えられます。また今年度は後期日程を設けなかつた学部もあるので、受験者数が減少し、例年とは違った傾向が見られたことも要因のひとつでしょう。

●アドバイス

1. 長文読解問題の傾向を知る。

今世界で起きている問題、たとえば環境問題、エネルギー問題、人口問題、貧困問題など、新聞やテレビなどのニュースに関心をもっていると、同じトピックの英文も読みやすくなるでしょう。

2. 英語のバツページとパラグラフ構造を理解する。

現在、世界の英語運用能力測定テストで共通して求められていることは以下の 3 点です。

①小論文などの主題文 (Topic Sentence) を探し、文章全体の主旨や作者の主張 (Thesis Statement) を理解する。結論にあたる文 (Concluding Sentence) を的確に把握すること。全体の流れを理解すること (Skimming)。

②作者の主張を補うサポート情報を整理し、詳細な内容を読みとること (Scanning)。

③未知の部分や文脈から推測し (Inference)、最後の結論と結びつけて文章を総合的に理解すること。

3. 英語を和訳せず、英語で理解する習慣をつける

英文の全てを日本語に訳したり、何度も同じ英文を返り読んだりせずに、英語を文頭から読んでいき、英語の表現方法や文構造に慣れることも大切です。できる限り英英辞典を活用して、英語で物事概念や定義を理解する習慣をつけたいものです。毎日 1 時間でも英文を集中して読む習慣を身につけると、英語力が伸びていきます。英語の文章は後戻りしないで、句や節ごとに左から右へ流れるように読みこなすことが大切です。

4. TOEFL や英語検定試験などの試験問題になれる

TOEFL、TOEIC や英語検定試験等の問題は英語の運用能力を様々な角度から測ることができ、内容も優れているので大いに参考にしてください。

5. 高等学校の英語の授業を大切に、毎日英文を音読する
高等学校での英語の授業を大切に、予習復習を積み重ねることが英語学習の基本です。学校の教科書で学ぶ長文は厳選された優れたものばかりです。繰り返し読み、音読し、英語で理解する力を養成してください。

配点

305 文系 (200 点)

① 36 点 ② 36 点 ③ 20 点 ④ 18 点 ⑤ 18 点 ⑥ 36 点 ⑦ 36 点

305 理系 (100 点)

① 22 点 ② 22 点 ③ 10 点 ④ 12 点 ⑤ 12 点 ⑥ 22 点